

株式会社湯浅産業

2021 年度 環境経営レポート

(対象期間 2021 年7月1日～ 2022 年6月30日)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

安全に、大切に、資源を育てる (E.R.C.グループ)
株式会社 湯浅産業
Yuasa-sangyo

作成日: 2022年7月20日
更新日:

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ、環境経営方針	3
組織の概要	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
許可の内容	6
廃棄物処理フロー	7
主な環境負荷の実績、環境経営目標及びその実績 環境経営計画の取組結果とその評価	8～12
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無 緊急事態対応訓練	12
代表者による全体の評価と見直し・指示	13



SDGs
REGISTERED PARTNER
NAGANO PREFECTURAL
GOVERNMENT

□ごあいさつ

当社グループは、産業廃棄物の収集・運搬、再生利用処理のすべての工程において技術的、経済的可能な範囲で環境負荷を低減し、地球環境の保全と資源の循環型社会形成に貢献することを目的として継続的に活動します。

環境経営方針

<環境経営理念>

株式会社湯浅産業は、社会で排出される産業廃棄物の収集・運搬及び産業廃棄物の再生利用処理により、有機肥料を生産している事を踏まえ、産業廃棄物の適正化処理によって、循環型社会形成に向けた静脈産業の企業市民として行動します。

<環境保全への行動指針>

1. 環境に関連する法令や規制及びその他の同意する要求事項を遵守すると共に、必要により自主基準を設けて環境保全のレベルアップを図ります。



2. 社員全員が積極的に環境保全に関心を持ち、下記の事項を環境目標活動の重点テーマとして取り組みます。

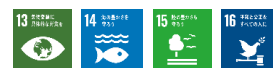
- ① 電力及び化石燃料による二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- ② 自社の廃棄物の削減や受託廃棄物の分別の徹底で発生抑制、再資源化に努めます。
- ③ 処理工程の見直しを行い化学物質削減に努めます。
- ④ 工場排水の排水量の軽減に努めます。
- ⑤ 環境負荷の少ない再生処理工程、製品開発に努めます。



3. この環境方針は、全従業員に周知徹底すると共に、社内外に公開します。



4. 全社員の参加により、この環境方針の実現で美しい大町の自然環境を将来に引き継ぐ事を目指します。



制定日：2022年7月20日

改定日：

代表取締役社長 柴田孝吉

□組織の概要

更新日：

- (1) 名称及び代表者名
株式会社湯浅産業 代表取締役社長 柴田 孝吉
- (2) 所在地
株式会社 湯浅産業 長野県大町市常盤字山神下7085-4
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 常務取締役 市川 政志 TEL：0261-22-7102
担当者 総務部 南澤 佳代
- (4) 事業内容
産業廃棄物の収集運搬、中間処理（有機性汚泥の堆肥化）及び登録肥料の販売
- (5) 事業の規模

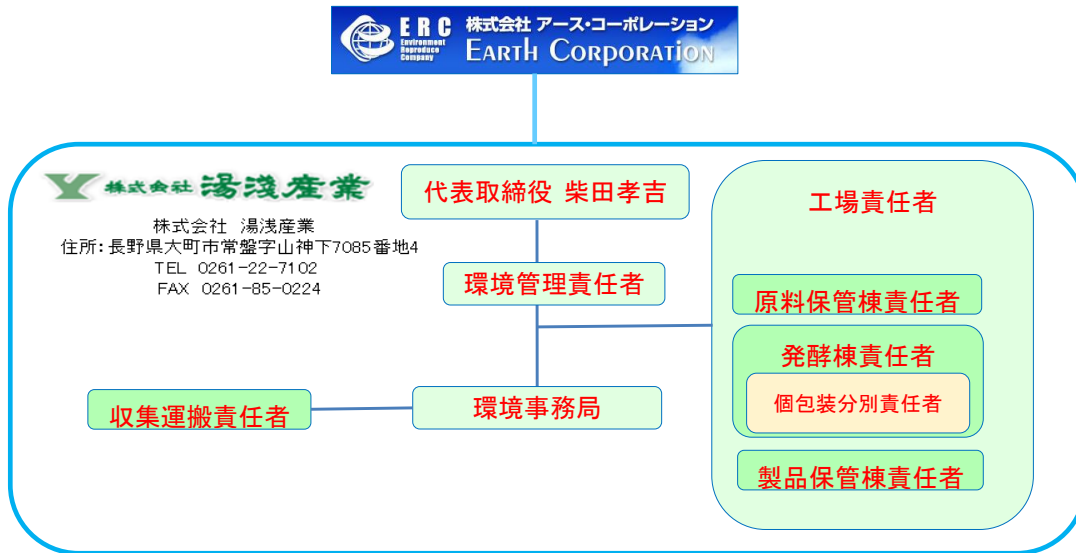
法人設立	湯浅産業		
資本金	6,000 万円		
売上高	28,000 万円		
従業員	12名		
延べ床面積	2,745㎡		
受託した産業廃棄物			
収集運搬量	2,247		t
中間処理量	12,720		t
うち再資源化量	12,720		t
最終処分量	0		t
中間処理後の産物の処分量	661		t
うち再資源化量	523		t
車両一覧			
大型ダンプ	1		台
大型吸引車	1		台
バックホー	1		台
バックホー	1		台
タイヤドーザー	4		台
フォークリフト	3		台
2tダンプ	1		台

主要設備

名称	台数	備考	
脱臭装置	1 基	湯浅産業	
コンプレッサー	1 基	湯浅産業	
プロアー	8 基	湯浅産業	
積み替え保管施設 無し			
名称	保管面積	保管上限	備考
	㎡	m	
	㎡	m	
	㎡	m	

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社湯浅産業
 対象事業所： 湯浅産業本社
 活動： 産業廃棄物の収集運搬、中間処理（有機性汚泥の堆肥化）及び登録肥料の販売



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、各社事業の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□許可の内容

優良化認定を示す

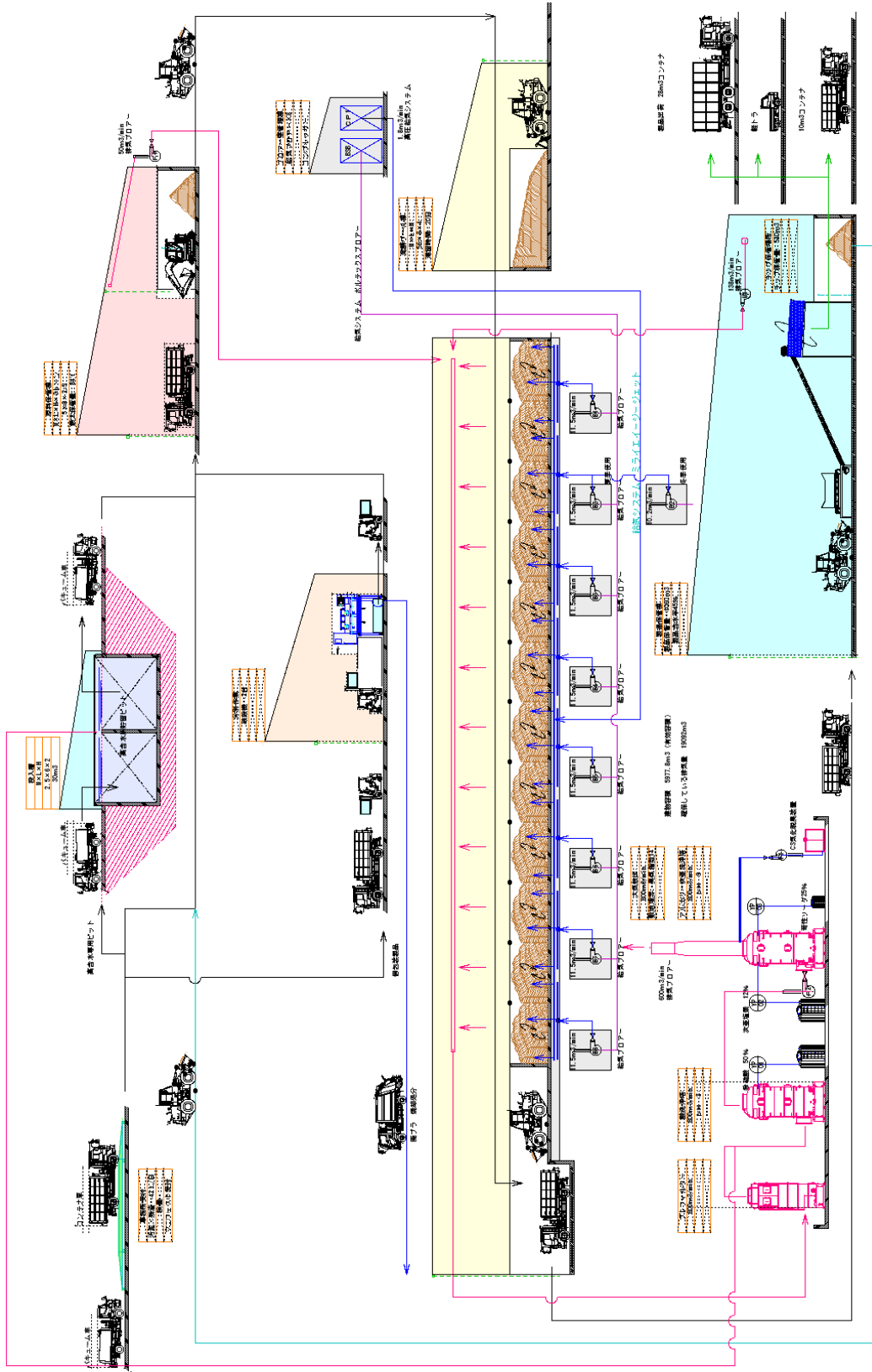
(株)湯浅産業が収集運搬できる産業廃棄物の範囲と品目																				
都道府県	・許可年月日 ・許可番号 ・許可の有効期限	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	鉱さい	がれき類	家畜の糞尿	家畜の死体	ばいじん	
⑤長野県	令和2年9月19日 2005008293	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	令和9年9月18日						自						自	自						
⑤岐阜県	平成30年7月22日 02100008293	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○
	令和7年7月21日						自						自	自						
⑤山梨県	平成30年3月17日 01900008293		○								○									
	令和7年3月16日																			
富山県	令和2年2月27日 01601008293	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○				○
	令和7年2月26日	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自		自	自	自	自				自
新潟県	令和2年7月27日 01509008293	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○					○
	令和7年7月26日						自						自	自						

(株)湯浅産業が中間処理できる産業廃棄物の品目及び処理量					
都道府県	・許可年月日 ・許可番号 ・許可の有効期限	種類		処理能力	
長野県	令和2年9月19日	汚泥	堆肥化	堆肥化施設	42t/日
	2025008293				
	令和7年9月18日	動植物性残渣			

(株)湯浅産業が収集運搬できる一般廃棄物の品目			
市町村	・許可年月日 ・許可番号 ・許可の有効期限	種類	品目
山ノ内町	令和4年3月7日	一般廃棄物	し尿、浄化槽汚泥
	三山健福第520-10号		
	令和6年3月31日		

(株)湯浅産業の登録肥料		
銘柄	・許可年月日 ・登録番号 ・許可の有効期限	種類
しなの	平成30年9月21日	汚泥発酵肥料
	生第80546	
	令和6年9月30日	

□ 廃棄物処理フロー



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年	2020年	2021年
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	944,158	950,395	861,449
受託収集運搬量	トン	2,792	3,234	2,247
受託中間処理量	トン	12,632	12,922	12,720
受託最終処分量	トン	0	0	0
廃棄物排出量	トン	168	154	148
一般廃棄物排出量	トン	12	1	9
産業廃棄物排出量	トン	156	153	139
水使用量	m ³	1,732	23,263	58,297

※二酸化炭素排出係数 0.476 kg-CO2/kWh 中部電力ミライズの2017年の実排出係数

□環境経営目標及びその実績

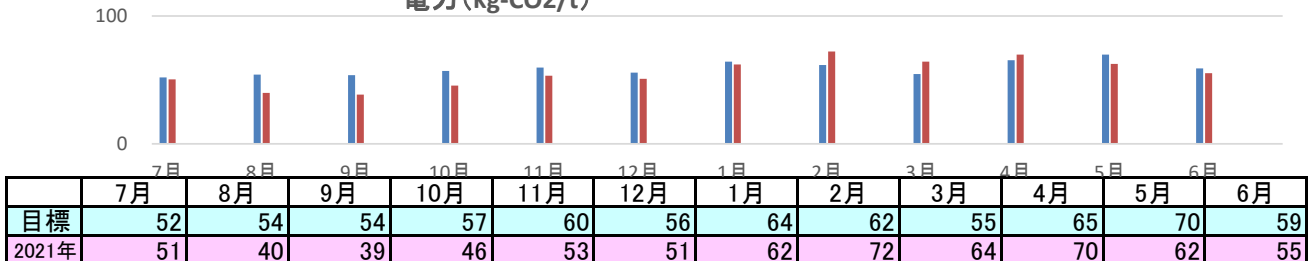
項目	年度	2021年度			評価	2022年度	2023年度
		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2/t	61	59	55	○	59	59
	基準年度比	100%	97%	91%		97%	97%
化石燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2/t	14.307	13.877	12.278	○	14	14
	基準年度比	100%	97%	86%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2/t	75.041	72.790	67.684	○	72.790	72.647
廃棄物の削減	%/t	8.96	8.69	5.83	○	8.69	8.60
	基準年度比	100%	97%	65%		97%	96%
水道水の削減	m ³ /t	0.139	0.135	0.073	○	0.135	0.135
	基準年度比	100%	97%	52%		97%	97%
薬剤使用量削減	kg/t	7.57	7.34	14.79	×	14.35	14.35
	基準年度比	100%	97%	196%		97%	97%
グリーン購入の推進	%	21.9	22.6	44.6	○	22.3	22.6
	基準年度比	100%	103%	203%		102%	103%
環境に配慮した悪臭防止対策	臭気指数	10未満	10未満	10未満	○	10未満	10未満
	基準年度比	100%	継続推進	10		継続推進	継続推進

□環境経営計画の取組結果とその評価

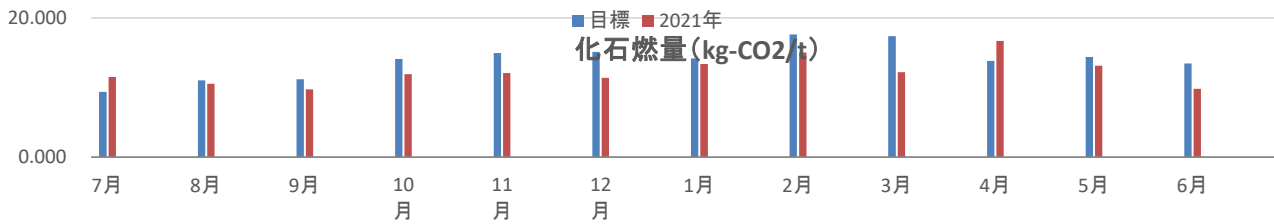
数値目標：○達成 ×未達成

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【評価】一年間の総括として、目標達成できた。
・空調温度の適正化 (冷房28℃ 暖房20℃)	○	【次年度の取り組み】来年度も継続推進できるように頑張りたい。目標達成できなかった月は特に冬場であった。来季の冬場の対策は今後の検討課題としていく。
・不要照明の消灯	○	
・作業効率の見直し	○	
・インバーターの調整	○	

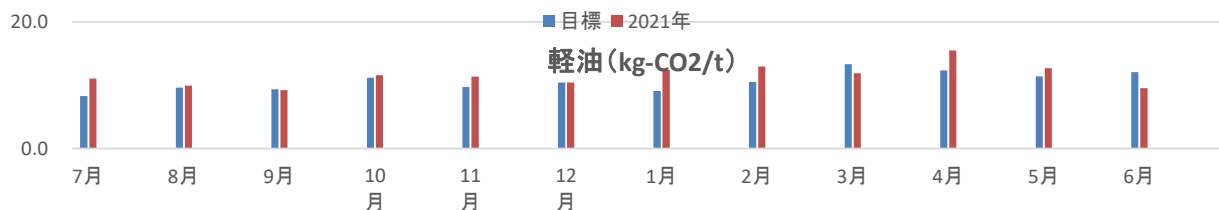
電力(kg-CO2/t) ■目標 ■2021年



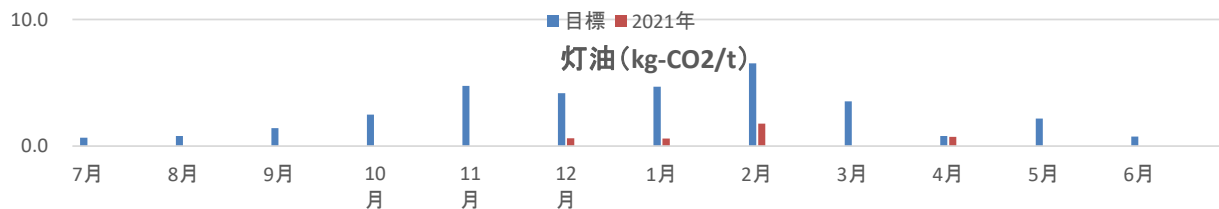
化石燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【評価】一年間の総括として、目標達成出来た。 【次年度の取り組み】来年度も継続推進できるよう頑張りたい。
・効率的なルートで荷扱い	△	
・作業時間の短縮	○	
・暖房の控えめ使用	○	



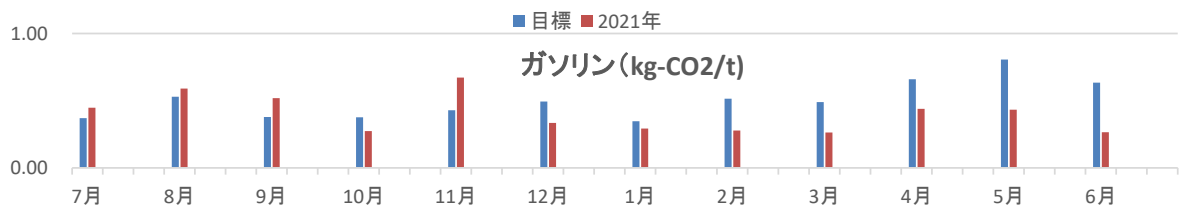
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
目標	9.376	11.003	11.193	14.095	14.931	15.121	14.160	17.603	17.388	13.826	14.382	13.450
2021年	11.516	10.529	9.740	11.895	12.063	11.406	13.360	15.027	12.189	16.675	13.132	9.802



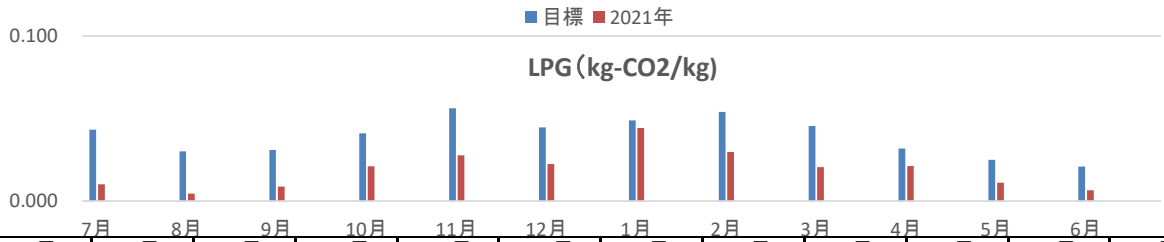
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
目標	8.3	9.6	9.4	11.2	9.7	10.4	9.1	10.5	13.3	12.3	11.4	12.0
2021年	11.1	9.9	9.2	11.6	11.4	10.4	12.4	13.0	11.9	15.5	12.7	9.5



	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
目標	0.7	0.8	1.4	2.5	4.7	4.2	4.7	6.5	3.5	0.8	2.2	0.7
2021年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.6	1.8	0.0	0.7	0.0	0.0

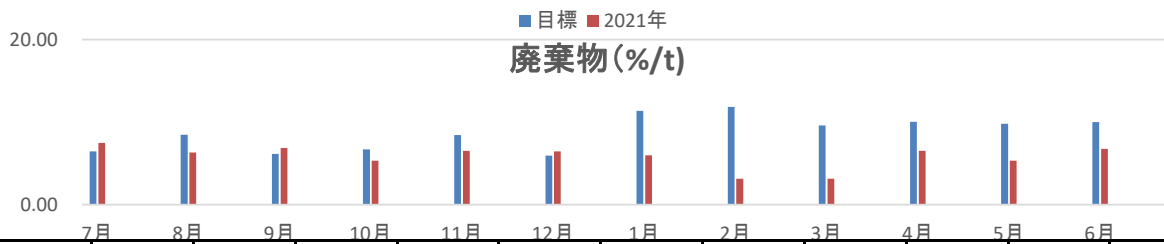


	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
目標	0.37	0.53	0.38	0.38	0.43	0.49	0.35	0.51	0.49	0.66	0.81	0.63
2021年	0.45	0.59	0.52	0.27	0.67	0.33	0.29	0.28	0.26	0.44	0.43	0.27

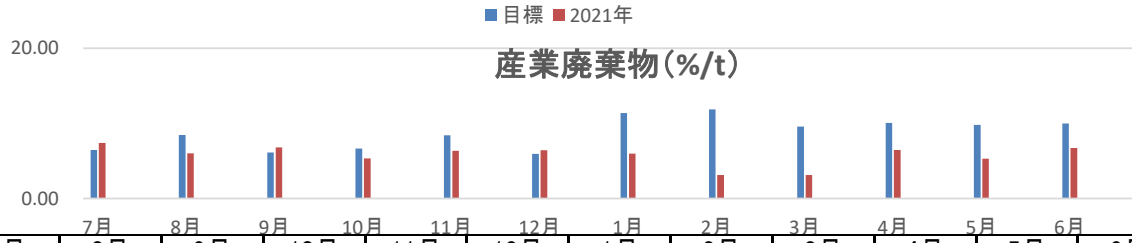


	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
目標	0.043	0.030	0.031	0.041	0.056	0.045	0.049	0.054	0.045	0.032	0.025	0.021
2021年	0.010	0.005	0.009	0.021	0.028	0.022	0.044	0.030	0.021	0.021	0.011	0.007

廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【評価】目標達成出来た。上半期で目標達成出来なかった廃棄物の発生量を抑制することで目標達成出来たと考えられる。 【次年度の取り組み】今後は排出量を総合的に検討していきたい。
・排出先の分別徹底の依頼	○	
・選別の徹底	○	
・リサイクル先の開拓	○	



	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
目標	6.46	8.47	6.14	6.68	8.42	5.94	11.37	11.84	9.59	10.05	9.80	9.99
2021年	7.48	6.31	6.86	5.34	6.53	6.46	5.97	3.15	3.16	6.51	5.33	6.77

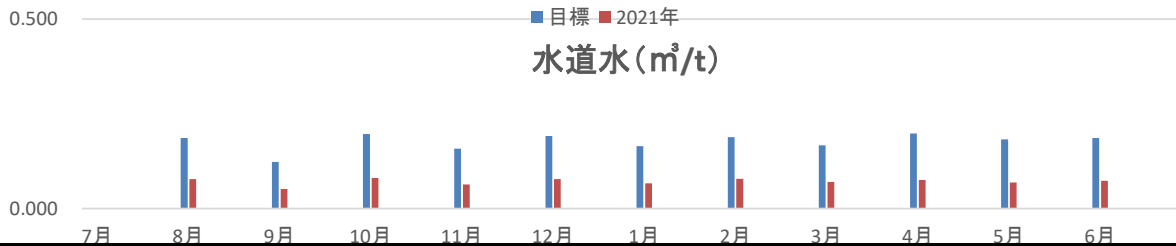


	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
目標	6.46	8.46	6.14	6.66	8.42	5.92	11.37	11.84	9.58	10.05	9.80	9.99
2021年	7.41	6.00	6.80	5.33	6.33	6.44	5.97	3.12	3.12	6.48	5.30	6.72



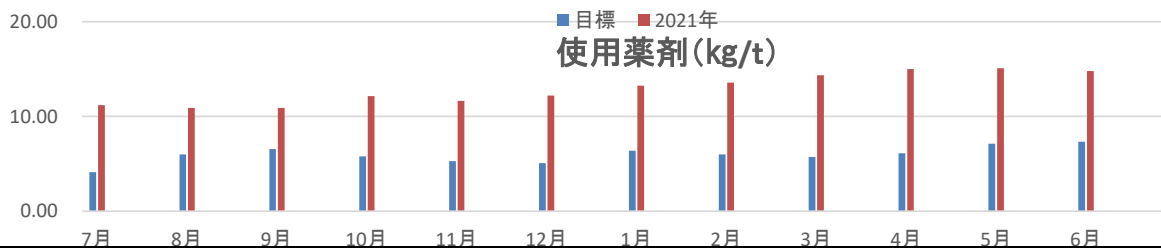
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
目標	0.00	0.01	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00
2021年	0.07	0.31	0.06	0.02	0.20	0.02	0.00	0.02	0.03	0.03	0.03	0.05

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【評価】年間通して目標達成出来た。今期は年間を通して井戸水の使用量を把握できた。 【次年度の取り組み】来期は上水・井戸水を含めた目標として計画していきたい。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・工場での使用水の節水	○	



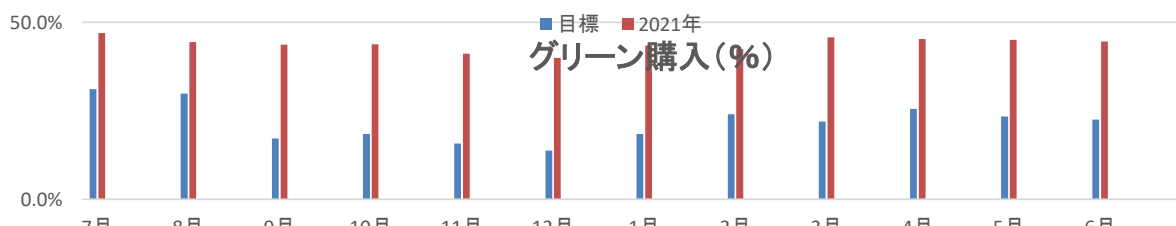
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
目標	0.000	0.186	0.123	0.197	0.158	0.192	0.165	0.189	0.167	0.198	0.182	0.186
2021年	0.000	0.078	0.051	0.080	0.064	0.078	0.066	0.079	0.070	0.075	0.069	0.073

薬剤使用量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【評価】目標値に対して達成出来なかった。悪臭防止の対策として硫酸の使用は必要になる。 【次年度の取り組み】来年度は、目標設定を再検討する必要がある。
・有害性物質の表示の徹底	△	
・容器の蓋の徹底	○	
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	
・代替物質の検討	△	



	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
目標	4.11	6.00	6.57	5.79	5.29	5.06	6.37	6.00	5.72	6.13	7.12	7.34
2021年	11.20	10.90	10.91	12.15	11.63	12.19	13.26	13.57	14.35	15.00	15.09	14.79

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【評価】目標値に対して達成出来た。 【次年度の取り組み】今後もグリーン購入品を意識してこの調子で頑張りたい。
・事務用品グリーン購入		



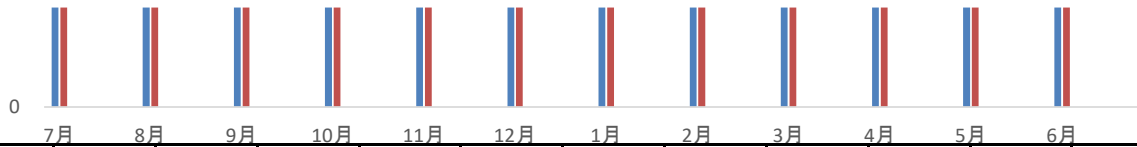
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
目標	31.1%	29.8%	17.2%	18.5%	15.7%	13.8%	18.4%	24.1%	21.9%	25.5%	23.4%	22.6%
2021年	47.0%	44.4%	43.7%	43.8%	41.1%	40.0%	43.4%	42.4%	45.8%	45.3%	45.1%	44.6%

環境に配慮した悪臭防止対策	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		【評価】年間通して目標達成出来た。
・薬剤管理の徹底	○	【次年度の取り組み】来期は引き続き継続して目標達成出来るように頑張りたい。
・シャッター等開口部の開閉の徹底	○	

20

■ 目標 ■ 2021年

敷地境界臭気指数



	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
目標	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
2021年	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃掃法	中間処理業、収集運搬業
悪臭防止法	敷地境界・吐出口の臭気指数
水質汚濁防止法	排水基準
毒物及び劇物取締法	危険物の保管
消防法	化石燃料の保管
顧客要求事項	

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災対応	
■実施日： 2022/2/15	■実施場所 喫煙スペース
■参加者： 山本、斉藤、清水、川久保、比嘉、青柳	■実施内容： ・火災対応訓練
■評価： 火災対応訓練を行いました。訓練を行うことにより安全及び火災による環境汚染を防止する事を再確認しました。	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2022年7月25日

環境目標については、概ね達成することが出来た。
二酸化炭素削減など化石燃料・電力に由来する項目は順調に推移していると考ええる。
水道水の使用量も井戸水への転換によって大きく削減することが出来た。
しかしながら、薬液使用量については、増加の一途をたどる結果となった。
これは弊社の悪臭公害対策に起因するものであり、臭気指数が総体的に低減されている事、苦情件数が確実に減っている事等を考慮すれば、納得の結果である。
低炭素、温室効果ガスの低減が求められる社会ではあるが、私たちの企業は地域の公害に対する配慮が一番大切であると考ええる。
円安、ロシアなどの情勢により、購入資材やエネルギーの価格の高騰は当面の間、解消される事ではなく経営環境にとっては、より一層厳しさが増すばかりです。経費削減＝環境負荷の底下というこれまでの取り組みを評価し、継続する事は非常に大切ですが、今後は違ったアプローチでの環境への対策や検討に取り組んでいく事が重要であると考ええる。

- | | | |
|-----------|--|---|
| 環境経営方針 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 環境経営目標・計画 | <input type="checkbox"/> 変更なし | <input checked="" type="checkbox"/> 変更あり 実績を踏まえて見直す |
| 実施体制 | <input type="checkbox"/> 変更なし | <input checked="" type="checkbox"/> 変更あり |

